

【取組内容①】 ICT機器を活用した複線型授業の工夫

1. 使用機器・環境等

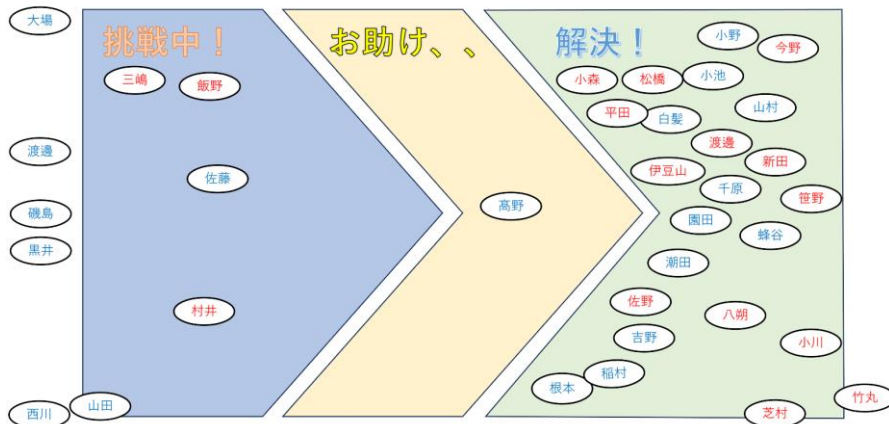
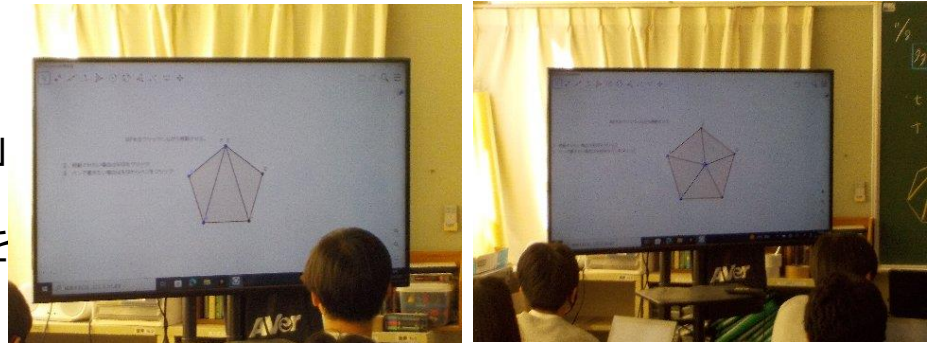
教師:Microsoft Windows 10 Pro 生徒:Microsoft Windows 10 Pro

ネットワーク:Wi-Fi ソフト:Microsoft Teams, 数学学習用の学習支援ソフト, デジタルホワイトボード

2.活用例 複数の考え方ができる課題や難易度の異なる課題を提示して、各自の興味・関心に応じた取り組みをする。

【実践事例1】 中学2年／数学／「図形の調べ方」
「 n 角形の内角の和の求め方を深く理解しよう。」

- ①Teamsで課題を提示
- ②数学学習用の学習支援ソフトで頂点の位置を変えて求め方を考える
- ③デジタルホワイトボードソフトで共有する



《考察》

- ・毎時間は難しいが単元終わり等に回数を重ねることにより、生徒の思考力・表現力の向上が期待できる。
- ・効果を上げるためには教師のより深いアプリや教材の研究が必要である。
- ・生徒が今どの段階にいるかわからなかったもので、PPTの共有機能を使って左図のような表(挑戦中・お助け・解決)を活用することにより、生徒の意欲の持続・向上が見られた。

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」

英語科主題：「実践的コミュニケーション能力を育てるための指導」

3人称単数現在形の導入を兼ねて初対面のALTにインタビューを行い、インタビュー後に報告文を作成する事とした。

タブレット端末(ウェブ会議ソフト)を用いて、ALT 9名(内8名オンライン)の協力のもと、4人1班で各ALTに一齐にインタビューを実施した。【外部専門家によるオンライン授業の実施】

【実践を行って】

- ・さまざまな国のALTがいることで、訛りなども含めた生のコミュニケーションを体験する機会を1時間の中でクラスの全生徒に設けることができた。
- ・実際にクラスに1人ALTがいることで、会話のデモンストレーションを子供に見せるなど、オンラインだけでは難しい対応も行うことができた。
- ・端末の利用については、より検討、研究が必要である。

○使用機材

教師：Microsoft

Windows 10 Pro

生徒：Microsoft

Windows 10 Pro

ネットワーク：Wi-Fi

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等」

1. 使用機器・環境等

教師:Microsoft Windows 10 Pro 生徒:Microsoft Windows 10 Pro

ネットワーク:Wi-Fi ソフト:Microsoft Teams, Microsoft Forms

2. 活用例 授業後の評価シートや栽培の観察記録をタブレットを活用し、家庭学習を充実させる。

【実践事例1】 中学2年／技術

「バジルの栽培観察記録の製作」

- ・Formsで栽培観察記録を製作
- ・Teamsの課題機能を使い配布
- ・バジルを観察し、授業後に結果を入力

**【実践事例2】 中学2年／技術**

「自己評価シートの製作」

- ・Formsで自己評価シートを製作
- ・Teamsの課題機能を使い配布
- ・授業終了時に、授業を振り返り自己評価シートを入力



《考察》

- ・授業課題を家庭でも取り組めるようにすることで、家庭でも授業内容の復習や確認を行うことができる
- ・タブレットを見ることでいつでも観察の過程や授業内容の確認を行うことができる